

Japan Digest No.6

2007年 12月

INPEA 日本国会員各位殿

いよいよ年の瀬。

皆様におかれましては、お忙しくもますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

本日は、*Japan Digest* の第 6 号を送付させていただきました。第 6 号では、去る 11 月に米国カリフォルニア州サンフランシスコで行われました、第 60 回米国老年学会社会での INPEA の活動および高齢者虐待に関する研究発表の一端と今後のイベントのご紹介をさせていただきます。

1. 【11月に米国サンフランシスコで開催された GSA（米国老年学会）における INPEA の活動】

毎年 1 回、11 月に行われる米国老年学会（GSA）の年次研究大会が、今年は、カリフォルニア州サンフランシスコ・ヒルトンホテルで、2007 年 11 月 16 日（金）～11 月 20 日（火）までの 5 日間開催されました。

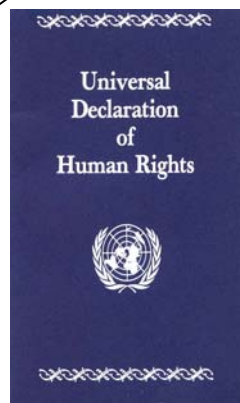
その GSA で、毎年行われております高齢者虐待に関する Interest group の会合（このグループの委員長は 15 年以上多々良先生が務めておられます）である“Interest Group on Elder Abuse, Neglect, and Exploitation”には、世界から INPEA の幹事やメンバー、高齢者虐待に興味・関心のある人たちが集まります。昨年のこの会合には、塚田は生憎本務校入試と重なり、参加できませんでした。今年、18 日（日）朝 9 時半にサンフランシスコに到着。この会合は、その日の夜 6 時半から開かれたため、出席することができました。以下に、その会合の雰囲気写真を写真で簡単にご紹介いたします。参加者数は最大時で 26 名でした。



<GSA の Interest Group on the Elder Abuse, Neglect, and Exploitation の会場の様子>

会合は、多々良先生の司会で進められ、まず、INPEA 副会長のエリザベス・ポドニクス氏より話があり、次に、サンタクララ郡の高齢者と成人サービス課のベティ・マークスによる経済的虐待に関する特別チームの取り組み、そして、カリフォルニアの高齢者虐待革新についての取り組みが、カリフォルニア大学アーバイン高齢者虐待センター（Center of Excellence in Elder Abuse）から、さらに、ヨーロッパでも成人保護の法律が徐々に成立しつつあることなどが報告されました。以下の写真は、その報告者や報告の後の質疑応答時の様子です。議論が白熱し、予定の終了時刻の午後 8 時を越えました。

INPEA アジア地域理事多々良紀夫先生による司会：結構まじめな面持ちで・・・。



スーザン・サマーズ氏は、国連の公共情報課が出版した人権に関する Universal Declaration of Human Rights(人権に関する世界宣言)を報告し、この中に高齢者虐待が入っていることを紹介しました。



<同会場にて：多くの参加者から活発に意見が出されました>

会合が終わったところで、INPEA 世界会長をはじめとする役員の方々には滅多にお会いすることがないため、写真をとらせていただきました。右から、順に INPEA 世界会長リア・ダイチマン氏、アメリカ国委員会代表・INPEA 国連担当理事パトリス・ブラウネル氏、INPEA 世界副会長エリザベス・ポドニクス氏、INPEA 世界事務局長スーザン・サマーズ氏です。



<INPEA の役員たちと筆者(左)>

2. 【GSA（米国老年学会）における高齢者虐待に関する日本からの発表】

淑徳大学多々良紀夫先生（INPEA アジア地域担当理事で JAPEA＝日本高齢者虐待防止学会の研究推進委員長）が、“Complaints Resolution Programs to Address Institutional Elder Abuse in Japan”という題目で、11月19日(月)午後1時半から3時のセッションで発表されました（オハイオ州立大学のバラスワミ先生がセッションチェア）。多々良先生は、日本の社会福祉施設を対象として淑徳大学社会福祉研究所が調査した苦情処理の現状について報告されました。その他にも3名の発表者が自治体や州の取り組みを報告されました。以下にその時に発表をされた方々の写真を紹介いたします。



この会場の参加者は、約30名強のセッションとなりました。短期間で家庭内暴力の3つの法律を成立させた日本に盛大な拍手が送られました。



<発表者全員の写真：左がセッションチェア>

3. 【2008年の6月15日(日)は第3回目のWorld Elder Abuse Awareness Day (世界で高齢者虐待を考える日)】

来年も来る6月15日(日)に「世界高齢者虐待を考える日」のイベント開催を予定しています。日本は、アメリカと韓国に続く、高齢者虐待に関する法律を持つ世界でたった3カ国しかない国の一つです。2008年の「世界で高齢者虐待を考える日」のイベントは、今年より、より多くの方々にご参加いただき、より実り多い一日にしたいと思っております。一人でも多くのINPEAの会員の皆様が、お友達を誘ってご参加いただけますことを願っております。詳細は、日本高齢者虐待防止学会(JAPEA)のHP<http://www.japea.umin.jp/>にてご確認ください。

4. 【2008年7月5日(土)に、第5回日本高齢者虐待防止学会千葉大会が開催されます!】

来年で5回目を迎える日本高齢者虐待防止学会(高崎絹子理事長)が、千葉県海浜幕張OVTA(海外職業訓練協会)で行われます。大会長は、淑徳大学多々良先生(INPEAアジア地域理事)です。参加費(事前登録)は、学会員が5000円、非学会員は5500円です。また、シニアや学生さんの割引もございますので、皆様のご参加およびお声をかけをよろしく御願い申しあげます!間もなく、JAPEAのHPで詳細が掲載されます!

5. 【2008年のGSA(米国老年学会年次大会)は、11月にワシントン.D.C. 郊外で開催されます!】

2008年の第61回米国老年学会(GSA)は、東海岸のメリーランド州National Harbor(ワシントン, D.C.郊外)で、11月21日から25日までの5日間開かれます。詳細は、GSAのHPの<http://www.geron.org/>でご覧下さい。発表要旨の申し込み〆切は、3月14日(金)です。オンラインで発表要旨を送れます!一人でも多くのINPEAの日本国委員会の会員の方々と現地でお会いできますことを楽しみにいたしております。

6. 【2009年7月5日~9日は第19回IAGG World Congress of Gerontology & Geriatrics(Paris 2009)=世界老年学&老年医学大会パリ大会】

4年に一度開催される世界老年学&老年医学大会が、今回(2009年)は、フランスパリ(前回はブラジル)で開催されます。研究発表要旨の締め切りは、2008年6月15日です。HPのアドレスは、www.gerontologyparis2009.comで、詳細をご確認ください。

末筆になりましたが、INPEA(国際高齢者虐待防止ネットワーク)のご入会は無料です(URLは<http://www.inpea.net/>)。皆様の同僚・友人・ご家族の皆様にご紹介くださいませ!!

来る年も、世界規模で高齢者虐待問題を考える、国連助言機関INPEA(高齢者虐待国際ネットワーク)の活動の輪を徐々に拡大して参りたいと存じます。引き続きまして、皆様のご支援とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、ご家族の皆様そろわれましてよい新年をお迎えくださいますように。

INPEA 日本国委員会代表 塚田 典子
日本大学大学院グローバル・ビジネス研究科
〒102-8275 東京都千代田区九段南4丁目8-24
Tel: 03-5275-9430
Fax: 03-5275-8386
E-mail: ntsukada@gsb.nihon-u.ac.jp
INPEA Japan URL : <http://www.inpea.jp>
INPEA URL : <http://www.inpea.net>